

能を知る会 鎌倉公演

字幕e能やっています!

わかりやすい字幕解説付き!

朝の部 午前十時始

解説 能の子方

狂言 蟹山伏

能 船辨慶

高橋忠孝 中森 貫太

中森 貫太

山伏 野村 裕基

源義経 中森 陽大
知徳ノ悪党 中森 貫太

武藏坊弁慶 殿田 謙吉

判官ノ従者 渡部 葵
船頭 内藤 連

大鼓 亀井 広忠
小鼓 田邊 恭資
太鼓 澤田 晃良
平野 史夏

後見 遠藤 喜久
奥川 恒治

地謡 平野 真樹
佐久間 二郎
鈴木 啓吾
永島 充
桑田 貴志

解説 能の神と鬼II

狂言 附子

能 第六天

高橋忠孝 中森 貫太

中森 貫太

太郎冠者 野村 裕基

源義経等 桑田 貴志
男女 石井 寛人

解説上人 則久 英志

狂言 渡部 葵
本社ノ神 中村 修一

大鼓 亀井 広忠
小鼓 田邊 恭資
太鼓 澤田 晃良
平野 史夏

後見 鈴木 啓吾
奥川 恒治

地謡 柴田 孝宏
永島 充
中森 貫太
遠藤 喜久
佐久間 二郎

「船辨慶」あらすじ

平家全滅の立役者源義経は、堀原景時の讒言により、兄頼朝に疎まれ、自ら都を去って西国に落ちようとする人物で愛妾静と惜しき別れを告げる(中入)

船出した一行は、俄の大嵐の中、平家門の亡霊が現れ、中でも平知盛の怨霊が襲いかかるが、弁慶の必死の祈禱に辛くも虎口を逃れる。

みどころ

義経の子方の可愛らしさに、前場の静の哀切な舞と、間狂言の船頭の火車輪の活躍、後場の豪快な戦いと、盛り沢山の見せ場があります。シテは二場形式で、静と知盛という全く異なった人物を演じ分けます。二作りの船にもご期待ください。

学生さん、初心者むけのわかりやすい能です。

「第六天」あらすじ

「太平記」を典拠とする五番目鬼畜物。

解説上人が伊勢参宮を志し渡会宮に着いたところ、一人の女に行き会ふ。女は御裳濯川の調われや渡会宮の由来を語り、僧に仏法の障礙が起ころうと神の告げを言い、決して姿を消す。

上人が神前で心を澄ませていると、点燈にかき曇り、第六天の魔王が多くの群鬼を従えて現れる。

上人が観念して合掌すると空から素戔嗚尊が出現され、宝棒で魔王達を打ち懲らしめ魔王に二度とこの地に現れぬと約束させる。そして天に帰る、魔王も退散して消え失せる。

みどころ

滅多に出ない希曲です。

前シテが伊勢神宮の使いの女性で、後シテが魔王という全く違うキャラクターなので、面白いわけ、演じわけが難しいです。前シテは神の使いらしく清々しく風流とやりたいですし、後シテはスケールの大きい中にもエロモラスな気の小さい魔王を表現できればと思います。

会場 鎌倉能舞台

日時 2025年7月24日(木) 朝の部 午前十時始 昼の部 午後二時始

入場料 入場料 各6,500円【団体 6,000円】 座席指定料 1,000円 ※座席の指定ができます。お電話にてお問い合わせください。

●記観の演目・演者等はやむを得ない都合により変更になる場合がございます。●許可のない録音・撮影は一切禁止です。●携帯電話は電源からお切りください。●演能やほかのお客さまの迷惑となる行為はご遠慮願います。

【チケット取扱】TEL・FAX・HP内のフォーム・Eメール・お票書などで承ります。(鎌倉能舞台) TEL・FAX.0467-22-5557 (e+(イープラス) http://eplus.jp)

主催:鎌倉能舞台 後援:神奈川県、鎌倉市

〒248-0016 神奈川県鎌倉市長谷3-5-13
TEL・FAX.0467-22-5557
URL: http://www.nohbutai.com
E-mail: webmaster@nohbutai.com



【交通】JR鎌倉駅南口より徒歩15分【最寄駅】鎌倉駅南口 東北口/東口(新)下車徒歩7分

鎌倉能舞台 座席表

